

# 南三陸の高校生ら、米国で復興願い鹿子躍 テキサス・レンジャーズ戦の始球式ほかで披露

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は8月28日～9月2日、米国テキサス州で開催される行山流水戸辺鹿子躍保存会(宮城県南三陸町)の高校生ら11名の鹿子躍公演を支援します。これは「第22回日米草の根交流サミット ノーステキサス大会」の関連イベントで、日米草の根交流の深化と、鎮魂と復興のメッセージを伝えます。

●8月28日(火) 18:30  
テキサス・レンジャーズ アーリントン球場  
(Rangers Ballpark in Arlington、  
テキサス州アーリントン市)  
\* タンパベイ・レイズ戦 始球式

●9月1日(土) 19:00  
テキサス大学ダラス校クラークセンター  
(The University of Texas at Dallas, Clark Center  
テキサス州ダラス市)

●9月2日(日) 13:30 メイヤーソン・シンフォニー・センター  
(The Morton H. Meyerson Symphony Center、テキサス州ダラス市)  
\* 草の根交流サミット大会 閉会式

参加者: 南三陸・行山流水戸辺鹿子躍(ぎょうざんりゅうみとべししおどり)保存会  
(15～18歳の高校生ら7名+引率者4名、計11名)

主催: 財団法人ジョン万次郎ホワイトフィールド記念 国際草の根交流  
センター(CIE)  
助成: 国際交流基金、TOMODACHI イニシアチブ



■水戸辺鹿子躍保存会: 鹿子躍(ししおどり)は宮城県北部から岩手県南部に伝わる民俗芸能で、南三陸の水戸辺はその発祥の地と言われている。伝承の担い手として活躍するのは地域の主に中学・高校生で構成される水戸辺鹿子躍保存会。2011年3月の震災と津波で甚大な被害を受け、太鼓や衣装なども失ったが、現在も仮設住宅等に住みながら稽古を続けている。

■日米草の根交流サミット大会: 国際草の根交流センター(CIE)が毎年日本とアメリカで交互に開催している大会。両国市民が様々な違いを超え、同じ人間として交流することにより、日米の友好関係を築くことを目的とする。

【問い合わせ】 財団法人ジョン万次郎ホワイトフィールド記念国際草の根交流センター

担当: 轟木: 03-3511-7171 [todoroki@manjiro.or.jp](mailto:todoroki@manjiro.or.jp)

国際交流基金 文化事業部 米州チーム

担当: 松本 03-5369-6061 [Kenji\\_Matsumoto@jpf.go.jp](mailto:Kenji_Matsumoto@jpf.go.jp)